



2019年(令和元年)
7月8日
月曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市中村区
名駅4-4-10

編集局 052(561)5212
読者開局 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
©中部経済新聞社2019
購読のお申し込み
☎0120・605・123

首都圏情報 10面
NOK、摩擦低減技術の提案強化
17日から名古屋で展示会

明日を拓く経営 16面
オリジナル生地小ロット受託
丹羽治産業、織物業者への発注枠シェア



ネオレックスの中小企業向け勤怠管理アプリ販売が好調＝3面

きょうの紙面

4面
なんだ雑貨投入
で生誕の地PR

5面
切削に対応可能
ロボット装置開発へ

つばめグループ

ICT・AI活用加速

決済用タブレット 1200台に導入

つばめ自動車(本社名古屋市中区、天野清美社長)を中核会社とするタクシー事業のつばめグループは、ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)の活用を加速する。今夏以降、保有車両約1200台に決済機能付きのタブレット端末を導入するほか、年内にも無線配車でAIによる需要予測システムを採用。さらに2020年初頭をめどに、連携する配車アプリの種類も増やす。増加する訪日外国人(インバウンド)需要への対応を強化すると同時に、タクシー利用客の利便性向上、従業員の業務効率化につなげる。

無線配車で需要予測も

活用している。経験の浅い運転手でも比較的容易に客を探ることができ、成果が上がっていることから無線

決済機能付きのタブレット端末は、名古屋市内を中心に約1200台に導入する予定。QRコード(二次元コード)決済をはじめ、交通系ICや電子マネーでの決済も可能になる。タブレット端末を接続できるよう、タクシーメーターも6月までに対応機に切り替えた。訪日外国人をはじめ

クシイの利用客の間で支払いにおけるキャッシュレス化が進んでいることから、投資に踏み切る。

また、スマートフォン(スマホ)の配車アプリを含む無線配車で、AIによる需要予測システムを活用する。AIを使って人口統計のほか天候、日時など過去の輸送実績から需要予測をはじき出すシステムで、運転手はその情報をもとに利用客を獲得する。

NTTドコモと開発に取り組み、すでに流し営業で

た。訪日外国人をはじめ

た。訪日外国人をはじめ

た。訪日外国人をはじめ

た。訪日外国人をはじめ



つばめグループはICTやAIの活用を加速する